

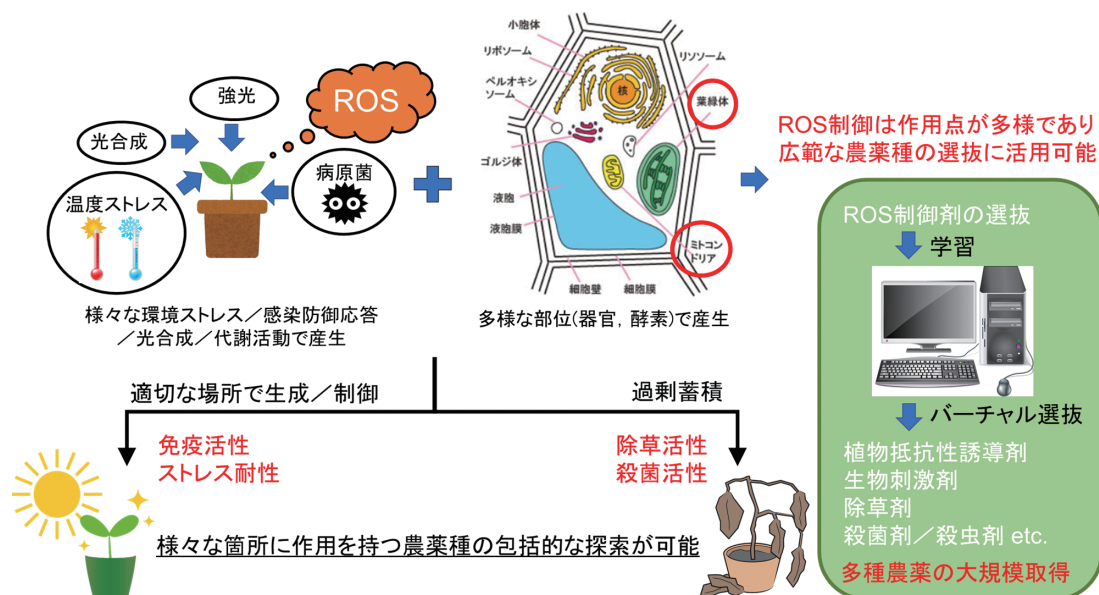


研究技術内容

【主なテーマ】

- ・植物が本来持つ免疫システムを利用した環境負荷の少ない免疫活性化技術手法の開発
- ・活性酸素種（ROS）などの免疫制御物質についてリアルタイム・多検体測定
- ・ROSを指標にした植物細胞による多様な農薬種の超効率選抜手法の開発
- ・ROSを指標にしたバーチャルによる多様な農薬種の超効率選抜手法の開発

技術要点説明



産業への活用方向

農業資材（農薬、肥料）の開発

関係する大学・企業等

農業資材企業

研究室概要

研究分野	植物細胞工学、植物生理学、ケミカルバイオロジー
主研究テーマ	低環境負荷型農薬の開発、ストレス耐性強化技術の開発
主要キーワード	活性酸素種（ROS）、抵抗性誘導剤、バイオスティミュラント、低環境負荷型農薬
研究室 HP	来須 孝光教授 Takamitsu Kurusu 公立諏訪東京理科大学 (https://www.sus.ac.jp/professor/kd_15kurusu/)

特記事項

○特許取得・各種認証等取得状況（予定含む）

- ・『METHOD OF SCREENING FOR PLANT DEFENSE ACTIVATORS, PLANT DEFENSE ACTIVATORS, AND METHOD OF ENHANCING IMMUNE RESPONSE』 USA特許9739767B2
- ・『植物防御活性化物質のための方法、植物防御活性化物質及び免疫応答亢進方法』 特許第5885268号
- ・『スクリーニング方法、生物刺激剤、防疫剤及び除草剤』 特願2023-201701